

科目名	授業時数	教科書名	副教材
中学3年 技術・家庭 【技術分野】	1	技術・家庭【技術分野】（東京書籍）	複合材料セット

1. 授業のねらい

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成および情報に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

2. 授業のすすめ方

1. 材料と加工の技術について、複合材料での問題解決を主眼に置いたものづくり
2. ICT機器を利用した作品の記録と紹介
3. プログラミングを活用した問題解決
4. 各分野の基礎内容の確認小テストを適宜実施
 - (ア) 材料と加工の技術
 - (イ) 生物育成の技術
 - (ウ) エネルギー変換の技術
 - (エ) 情報の技術

3. 学習上の留意点

1. 授業中は授業担当者の指示に従い、指示が必ず通るようにしておくこと（理解できなかった説明をそのままにせず、その場ですぐに確認すること）。
2. 授業中は事故防止の為以下の行為は禁止する。
 - (ア) 授業担当者の指示の妨害（作業説明中の私語）、実習室で走る、ふざける
 - (イ) 実習中、実習外での工具・PC等の無断使用や無断借用
 - (ウ)（担当教員が指示した場合）固定されていない頭髪（長髪）、作業上危険な服装
3. 週の時間数が少ないので忘れ物はしないこと（忘れた場合は授業時間前に報告）。
4. 提出物は提出期限内に提出すること（報告・連絡・相談を密に行うこと）。
5. 実習中に実習に関連したコミュニケーション（アドバイスや検査など）を積極的に生徒間、生徒・授業担当者間で行うこと。
6. 担当教員の許可を得ない授業の録音・録画，写真の撮影は認めない。
7. ID・パスワードを忘れない事（特にNUmailのアカウント情報は適切に管理し，写真等を自宅で撮ってバックアップした上で確実に残るようにする事）。
8. 授業を欠席・公欠した場合は授業内容を次回の授業前までに確認し，必要であれば授業担当者の指示を仰ぐこと（進度によっては補習が必要になるため）。

4. 副教材

複合材料セット（山崎教育システム株式会社）

5. 評価の視点・課題等

- ①各学期末に平常点を加味して100点満点で通知します。（家庭科との合算は無し）
- ②年度末に各学期の評価から学年成績（評定）を5段階評定で算出します。その他に、「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つによる観点別評価をそれぞれA，B，Cの3段階により評価します。（家庭科との合算は無し）

③以下の項目で評価します（課題に関しては課題毎のルーブリックを参照）。

- ▶ 授業中の態度（出席・忘れ物の有無など含む）
- ▶ 作品・課題等の提出物
- ▶ 小テスト（オンライン含む）

6. 定期考査

実施しない。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	<u>1編 材料と加工の技術</u> 材料と加工の技術による問題解決	小テスト	内容を理解できる
	5			
	6		構想図	図表を用いて具体的かつ効率的な作業を考えることができる。
	7		材料取り図	
二 学 期	9	<u>1編 材料と加工の技術</u> 材料と加工の技術による問題解決	作品の完成度	材料の特性や問題解決の手法に合わせた加工法を選択・組み合わせ、問題解決できる。 ICT機器(iPad)を活用し記録をとることができる。
	10	社会の発展と材料と加工の技術	・強度と構造 ・問題解決する工夫	
	11		ICT 機器 (iPad) を用いた活動	
	12		・製作過程記録 ・作品紹介	
三 学 期	1	*進度によって2学期に前倒し		
		<u>4編 情報の技術</u>	小テスト	内容を理解できる。
	2	計測・制御のプログラミングによる問題解決	プログラム課題	プログラムの構成について理解できる。
	3		※忘れ物・授業態度等は、平常点とする。	※製作系の授業と情報の授業は進度等によって適宜交換する。
		(通年) <u>2編 生物育成の技術</u> <u>3編 エネルギー変換の技術</u> <u>4編 情報の技術</u> 基礎事項の確認	小テスト	内容を理解できる。
		<u>4編 情報の技術</u> 実習（適宜実施）		ブラインドタッチができる。

※他教科との連携や授業進度、生徒の理解度によって内容の変更・省略をする場合がある。